

研究に関する情報公開

福島県立医科大学耳鼻咽喉科学講座では、下記の医学系研究に協力しています。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

【研究課題名】 深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査

【研究期間】 許可日～2024年3月31日

【研究の意義・目的】

この研究は、深頸部膿瘍症例について、深頸部膿瘍治療後の嚥下機能障害の程度、頻度を全国調査し、嚥下障害を併発した場合の入院期間や摂食嚥下機能の予後、また嚥下リハビリテーションと嚥下機能改善手術の効果などを検討するものです。詳細なデータを収集することにより嚥下障害の有無による両群の比較検討を行い数値化することで、嚥下障害リスク因子の抽出、嚥下リハビリテーションや嚥下機能改善手術の効果を検証し、治療選択の一助となる可能性があります。

【研究の対象となる方】

福島県立医科大学附属病院に深頸部膿瘍で入院し、治療を行った20歳以上の患者さんのうち、2011年4月1日以降に入院し、2021年3月31日までに退院した方を対象とします。

【研究の方法】

上記対象者の、診療のために保管しているカルテ情報（患者背景、治療法、治療経過、転帰）、問診データ、検査所見（採血）、画像所見（CT、MRI、嚥下内視鏡検査、嚥下透視検査、膿瘍の部位）を収集し検討します。

【研究組織】

研究代表者

岐阜大学大学院医学系研究科・医学部（職）教授（氏名）小川武則

共同研究機関

東北大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学 教授 香取 幸夫

情報の提供を行う機関

日本気管食道科学会認定専門医研修施設

【他の機関等への試料等の提供について】

①提供先の機関・研究責任者

（所属）岐阜大学大学院医学系研究科・医学部（職）教授（氏名）小川武則

②提供する試料・情報の項目

入院期間・転帰、問診データ（EAT-10、FOIS、FOSS、FILS）、嚥下内視鏡スコア（兵頭スコア）、嚥下造影所見（PAS）、患者背景（年齢および性別）、転帰、気管切開の有無、気管切開の閉鎖の有無、膿瘍の部位、嚥下障害を来した症例におけるリハビリテーション介入時期（直接訓練と関節訓練）、介入前後の嚥下内視鏡スコア（兵頭スコア）、嚥下造影所見（PAS）・嚥下機能改善手術前後の嚥下内視鏡スコア（兵頭スコア）、嚥下造影所見（PAS）、手術加療介入時期、経口摂取開始時期、術式

③提供方法

匿名化した情報をアンケートに記載し郵送します。

【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合があります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘 1
公立大学法人福島県立医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座 担当 野本美香
電話:024-547-1321 FAX: 024-548-3011
E-mail:jibika@fmu.ac.jp